林野庁 西表森林生態系保全センター

罕国成勿

学名

Crataeva religiosa

かめい科名

フウチョウソウ

べつ めい 別名



S 分 大本類

 は かたち だえんけい ちょうだえんけい

 葉 の 形 楕円形、長 楕円形

葉の縁全縁

葉の先鋭尖形

葉の種類 3 出複葉

葉の付方 互生

葉の基部 くさび形

実の種類液果

はな がくいる しろいろ しだい おうへん 花・萼色 白色、次第に黄変

海岸沿いの低地に生育し、常さ3m程度の落葉の小高木です。若い葉は灰褐色で無毛、葉は長さ5-12 cmの葉柄があります。小葉は全縁、楕円形で葉先は鋭尖形、基部はくさび形です。実は液果で長さ3-4 cmあり、実の皮は木質で多少のざらつきがあります。材は柔らかく軽いためイカ釣り用の餌木をつくったことから、魚木の名がついたといわれています。また、ツマベニチョウの食草です。

せ説め明